

第95期

中間報告書

自 平成18年4月 1日
至 平成18年9月30日

GISEN
岐セン株式会社

岐阜県瑞穂市牛牧758番地
TEL 058-326-8123

GISEN

岐セン株式会社

株 主 の 皆 さ ま へ

株主の皆さまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成18年9月30日をもって、第95期(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)の上半期を終了いたしましたので、この間の概況につきご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国の経済は、原油・原材料価格の高騰などの問題を抱えつつも、輸出の増加、設備投資の拡大、賃金・雇用情勢の改善による個人消費の堅調な動きなどに牽引され、回復基調で推移いたしました。

染色業界におきましては、原油・原材料の高騰で操業停止・廃業等、業界の縮小が進む厳しい状況下で推移いたしました。

このような状況の下で当社は、“挑め限界に”をスローガンに更なる事業収益基盤の確立に取り組んでまいりました。その中で、受注面におきましては、営業課と商品開発課の連携の中、新しい商品開発の提案と採算を重視した営業活動に努めました。当上半期におきましては、東レ(株)と共同で開発してきましたシルクのようにしなやかで、優雅な光沢と合繊の持つ機能性を兼ね備えたシルキー調素材のシルック TN の開発が好評を得ました。また、原油・原材料の高騰のコスト増を回収すべく、染色加工料金の改定に注力いたしました。

生産面におきましては、原燃料の高騰に対応すべく省エネ、工程合理化、原材料のVA等コスト合理化を進めてまいりました。また、産学共同による生産効率向上に努めてまいりました。

その結果、当中間期の売上高は前年同期比 7.5%増の2,003百万円、営業利益は12.9%減の 92百万円、経常利益は8.8%減の 95百万円、中間純利益は前年

において遊休土地の減損を行ったこともあり20.9%増の87百万円と売上の減少に歯止めがかかり、前年同期比増収増益を計上することができました。

なお中間配当につきましては、中間未処理損失があることから、誠に申し訳ないことと存じますが配当を見送らせていただきます。

通期の概況

当下半期におきましては、わが国の経済は引き続き回復基調をたどるとみられるものの、原油価格・米国経済・為替レート・金利の動向等不安定な要素を含んだ状況が続くものと予想されます。

このような経済環境の下で、当社におきましても、依然として原油の高止まり、それに合わせた原材料の値上げなど厳しい状況が想定されますが、更なる収益基盤の確立を図るために、消費者のニーズを先取りしたスピーディな商品開発と原燃料のコストアップを吸収すべく染色加工料金の見直しを進めてまいります。あわせて、生産面では、より一層の原価低減と効率的な生産体制を再構築し、収益の改善と業績の安定強化に全力を尽くしてまいります。

また、新事業推進部では、事業の第二の柱を構築するため、染色木材の用途拡大とポリ乳酸ケナフボードの研究開発を引き続き推進してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成18年12月

代表取締役社長 森 本 孝 敏

中間貸借対照表

(平成18年9月30日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	735,292	流動負債	1,177,441
現金及び預金	150,909	支払手形	264,976
受取手形	149,173	買掛金	109,401
売掛金	251,387	短期借入金	100,100
たな卸資産	139,501	一年以内償還社債	40,000
その他	44,571	一年以内返済予定長期借入金	201,648
貸倒引当金	250	未払金	256,686
		未払法人税等	3,985
固定資産	3,688,504	設備代支払手形	71,105
有形固定資産	3,575,623	賞与引当金	64,264
建物	434,105	その他	65,272
機械及び装置	503,313		
土地	2,523,573	固定負債	2,034,499
その他	114,631	社債	125,000
無形固定資産	3,117	長期借入金	379,144
投資その他の資産	109,762	繰延税金負債	495
投資有価証券	75,154	再評価に係る繰延税金負債	890,775
その他	44,623	退職給付引当金	586,888
貸倒引当金	10,014	役員退職慰労引当金	47,694
		その他	4,502
		負債合計	3,211,940
		(純資産の部)	
繰延資産	2,682	株主資本	131,845
社債発行費	2,682	資本金	352,800
		資本剰余金	88,200
		資本準備金	88,200
		利益剰余金	569,078
		その他利益剰余金	569,078
		繰延利益剰余金	569,078
		自己株式	3,766
		評価・換算差額等	1,346,383
		其他有価証券評価差額金	970
		土地再評価差額金	1,347,354
		純資産合計	1,214,538
資産合計	4,426,479	負債及び純資産合計	4,426,479

(注) 1 受取手形割引高 68,324千円
 2 有形固定資産の減価償却累計額 7,702,145千円

中間損益計算書

(自 平成18年4月1日)
(至 平成18年9月30日)

(単位：千円)

科目	金額	
売上高		2,003,204
売上原価		1,715,133
売上総利益		288,071
販売費及び一般管理費		195,893
営業利益		92,178
営業外収益		
受取利息	98	
受取配当金	6,906	
その他	8,833	15,838
営業外費用		
支払利息	8,193	
その他	4,353	12,547
経常利益		95,469
特別利益		-
特別損失		7,586
税引前中間純利益		87,882
法人税、住民税及び事業税		675
中間純利益		87,207
前期繰越損失		656,286
中間未処理損失		569,078

中間株主資本等変動計算書

(自 平成18年4月1日)
(至 平成18年9月30日)

(単位：千円)

項目	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金		
平成18年3月31日残高	352,800	88,200	656,286	3,766	219,052
中間会計期間中の変動額					
中間純利益	-	-	87,207	-	87,207
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-
中間会計期間中の変動額合計	-	-	87,207	-	87,207
平成18年9月30日残高	352,800	88,200	569,078	3,766	131,845

項目	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	943	1,347,354	1,346,410	1,127,358
中間会計期間中の変動額				
中間純利益	-	-	-	87,207
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	27	-	27	27
中間会計期間中の変動額合計	27	-	27	87,180
平成18年9月30日残高	970	1,347,354	1,346,383	1,214,538

取締役及び監査役（平成18年9月30日現在）

代表取締役社長	森本 孝敏
常務取締役	伊藤 勇（生産部門長）
取締役	棚橋富士男（管理部門長兼関連会社担当）
取締役	高橋 和宏（営業部門長）
取締役（非常勤）	石井銀二郎（東レ㈱ 常務取締役）
常勤監査役	大野 賢治
監査役（非常勤）	小野木敏幸（東レ㈱ 繊維事業管理室長）

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
（同送付先）	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料）
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
単元株制度	1単元の株式の数は1,000株
公告掲載新聞	中部経済新聞

（お知らせ）

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話及びインターネットでも24時間承っております。

電話（通話料無料）0120-244-479（本店証券代行部）

0120-684-479（大阪証券代行部）

インターネットホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>